

2019年9月



# ***EV Simulator Pro***

Enterprise Valuation Software

---

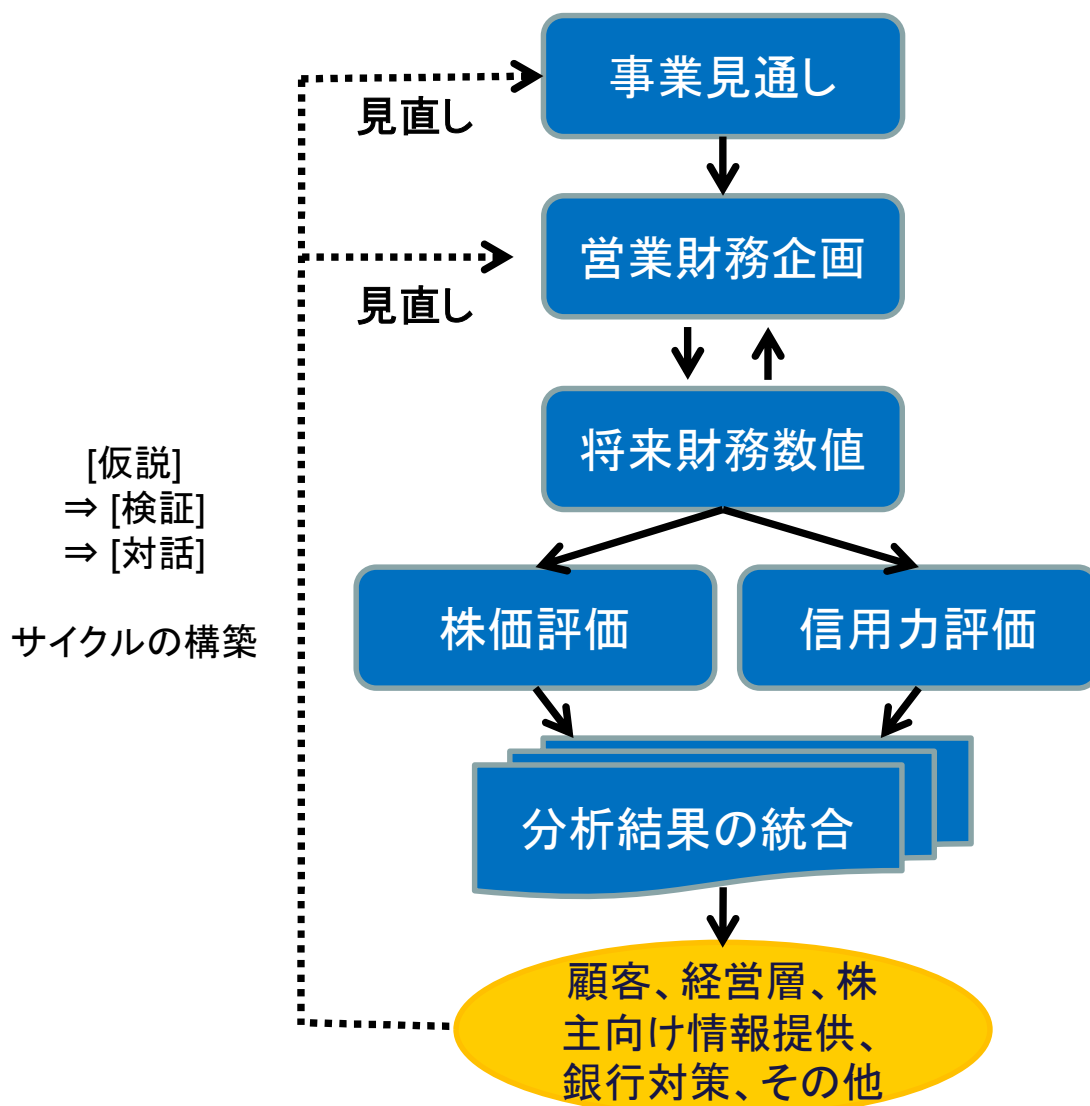
---

***Ver. 1.0***

株式会社クレジット・プライシング・コーポレーション

将来財務シミュレーションソフトウェア  
**EV Simulator Pro.**

**EV Simulator Proの使い方**



<本件お問合せ先>

(株)クレジット・プライシング・コーポレーション ☎03-3524-7220

(担当者: 神崎/法月(のりづき))

kiyoshi\_kanzaki@credit-pricing.com hiroschi\_norizuki@credit-pricing.com

## EVSP 8つの特長

特長1. 将来1時点の売上、利益を入力するだけ10年分の損益財務、資金繰りできあがり

特長2. 借入による調達、返済を自動計算

特長3. 将来の相続税法株価を推定

特長4. 市場株価の推定

特長5. 高度統計モデルによる信用力の計測

特長6. 非上場類似企業の簡単抽出

特長7. ワンクリック・1枚レポート作成

(特長8. 簡単に操作でDCF法による引当計算(予定))

## EVSPの特長解説 (1)

### 特長1. 簡単な操作で、整合する将来PL、BS、CFを作成

**Q** 3年後の売上と純利益だけ発表されている会社の3年後まで、各年の損益財務を作りたい。

**A** 3年後の売上と純利益を入力するだけで、今後10年間のPL、BS、CFが整合的に作成されます。

\*CF(キャッシュフロー)がPL,BSに正確に連動していることがEVSPの利点です。

### 特長2. 必要な手元現金(預金)を維持しながら、不足分の借入、余剰分による返済を自動的に実施

**Q1** 成長を続けるために将来必要な資金(運転資本、設備)の額と借入残高がどうなるか知りたい。

**A1** 売上の今後の伸び率、あるいは目標年の売上を入力すれば、運転資金の増加額、必要な設備投資、将来収益キャッシュフロー差し引き後の、追加借入額、返済額、借入残高が算出されます。

**Q2** 近々工場設備の新設を計画している。設備は加速度償却が可能。償却メリットも勘案したうえで、いくら借りる必要があり、どれくらいで返せるか？

**A2** 投資額と当該投資に係る減価償却費の見込み額を入力するだけで、必要借入額および返済見通しが算出されます。返済計画を簡単につくることができます。

\*企業自身のダイナミックシミュレーションにも活用できます。

### 特長3. 将来の相続税法株価を算出

**Q** 10年以内に息子に株を譲渡したいが、譲渡前にどのような方策がありうるか？

**A** 原価償却が大きい資産への投資その他、相続税法株価への影響が大きい将来シナリオを作成するだけで、自動的に将来の相続税法株価が算出されます。これにより、各種の相続対策の比較検討が可能になります。

\*相続発生時ではなく、生前の、相続税法株価がどうなるか、つまり将来の株価の予測がキーポイントです。

\*相続税法株価は事業承継を考える際に欠くことができない検討事項です。

## EVSPの特長解説 (2)

### 特長4. 市場株価を推定

**Q** 当社は上場していないが、銀行による事業会社の持ち株制限も緩和される方向にあり、経済的な株価がいくら位くらいになるか、将来シナリオ毎に知りたい。

**A** マルチプル法、DCF法による株価が将来シナリオ毎に自動計算されています。株価の評価に必要な基礎データ(業種マルチプル等)は定期的に配信されます。

\* 細かい設定をマニュアルで行うことも可能です。

### 特長5. 統計モデルにより信用力を計測

**Q** 現在本邦格付機関の格付はないが、格付を依頼したとすればどれくらいになるか、また将来格付見通しも知りたい。

**A** CPC社が長年にわたり磨き上げた統計モデルにより、**格付機関格付、デフォルト確率(PD)**および格付、標準的な銀行内部格付、PDに対応する**社債スプレッド**を算出します。モデルは毎年、見直しを行い精度を維持しています。

\* ユーザーが自身のモデルを保有している場合、搭載検討も可能です。

### 特長6. 非上場を含む類似企業抽出

**Q** 小さめの非上場企業で当社類似企業の利益水準を知りたい。

**A** 約14万社の非上場企業を、信用力水準、推定株価の大きさ、売上規模、業種、所在地、取引銀行等で絞込んで類似企業グループを作ることができます。当該グループ全体および個社の売上伸び率、利益率等を参照できます。

### 特長7. ワンクリック・レポート

**Q** 顧客に持参するあるいは、社内回覧用のレポートが簡単に出ないか。

**A** ワンクリックで、現状(実績)、将来信用力、将来株価の3つについて、各々1ページのシンプルなレポートが作成されます。

\* 別途、手作りレポートを作ることもできます。

EVSP機能一覧

搭載機能	EVSP特徴度合
将来PL, BS, CF作成① 借入、返済自動調整	S
将来PL, BS, CF作成② 現預金自動調整(現預金破綻あり)	
簡易PL,BS,CF簡易作成 将来時点の売上、利益の入力のみ	S
詳細将来シナリオのマニュアル作成	
テーマ別将来シナリオワンタッチ作成(成長、ストレス、設備投資、増資、自社株買等)	A
将来相続税株価の算出	S
ROE等経営目標達成利益の算出	S
信用力評価機能(倒産確率、モデル社債格付け、資金調達スプレッド)	A
標準的な銀行内部格付再現	
マルチプル法、DCF法による株価総額推定機能	
事業性評価に基づく引当計算 (追加予定)	S
将来シナリオ横並び比較	A
簡易レポート (現状、将来信用力、将来株価書1頁をワンクリックアウトプット)	
詳細レポートマニュアル作成	
リサーチ① 非上場企業14万社から新規与信見込み先、投信などの販売見込み先、M&A見込み先等抽出	
リサーチ② 非上場企業14万社から類似企業抽出	S
リサーチ③ 業種別(150業種)50種類の過去5年財務指標	
リサーチ④ 金融危機時点(2008~2012)の業種別売上変動率(ストレステスト用)	
リサーチ⑤ 上場企業業種別マルチプルおよび類似企業個社マルチプル	A
上場企業財務データ配信	

EVSP特徴度合 S: 特に高い A: 高い

## 簡易シナリオ入力

- ・ 右サンプルでは将来3期目と5期目の売上と利益の入力をしています。
- ・ 入力のない期は自動的に補完されます。BSの売上/利益連動勘定科目も回転期間などで同時に調整され、正しいCFが作成されます。
- ・ 同じ画面上に、損益、財務比率、ROE、推定格付、株価総額等が表示されており、売上、利益を変動させながら、その結果を観察することができます。ダイナミックなしミュレーションを手軽にお試しください。
- ・ 入力値は保存の都度新しいシナリオ名で保存し、呼び出すことができます。
- ・ 簡易シナリオ入力の他に、テーマ別シナリオ入力機能を用いると、成長、金融危機再現、設備投資、増資、自社株買いなどのテーマに基づく入力を行うことができます。

	直近実績	将来1	将来2	将来3	将来4	将来5
売上	296,695			222,000		300,000
営業利益	17,559					
当期純利益	13,767			10,000		15,000

	直近実績	将来1	将来2	将来3	将来4	将来5
売上	296,695	271,797	246,898	222,000	261,000	300,000
営業利益	17,559	16,085	14,612	13,138	15,446	17,755
当期純利益	13,767	12,511	11,256	10,000	12,500	15,000

- 損益比率

	直近実績	将来1	将来2	将来3	将来4	将来5
売上伸び率	1.64%	-8.39%	-9.16%	-10.08%	17.57%	14.94%
営業利益率	5.92%	5.92%	5.92%	5.92%	5.92%	5.92%
当期純利益率	4.64%	4.60%	4.56%	4.50%	4.79%	5.00%

- ROE / ROA

	直近実績	将来1	将来2	将来3	将来4	将来5
ROA(経常利益)	5.15%	5.20%	4.64%	4.10%	4.98%	5.77%
(純利益)	3.71%	3.38%	3.02%	2.67%	3.24%	3.75%
ROE(経常利益)	8.60%	8.41%	7.38%	6.44%	7.82%	9.03%
(純利益)	6.20%	5.47%	4.80%	4.18%	5.08%	5.87%

- 推定格付

推定格付機関格付	a	a	a	a	a	a
----------	---	---	---	---	---	---

- 推定株価総額

業種マルチプル	271,313	259,159	246,674	233,635	266,371	300,111
---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

- 資本比率

自己資本比率	59.83%	61.86%	62.87%	63.74%	63.68%	63.84%
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

[決算年]	201903
[BS整合]	B/Sを借入で整合させる
[シナリオ]	簡易シナリオ13



## 自動借入および自動返済

- ・ [BSを借入で整合させる](既定)を選択すると実績現預金回転期間に基づく現預金残高を越える現預金は自動的に返済に回り、不足する場合は自動的に追加借入が発生します。
- ・ 左の棒グラフは、成長モードの当初5年は増加運転資金需要等により借入が増加し、後半の安定期には返済が進むことを示しています。これらは、すべて自動計算の結果です。
- ・ [BSを借入で整合させる]を選択すると、余剰現預金は全て現預金残高に上乗せされます。借入残高は、追加借入、返済の入力を行わない限り、変化しません。
- ・ [BSを借入で整合させる]は、返済スケジュールが確定している、返済資金を確保できるかを判定する場合等によく用いられます。資金が不足する場合は現預金残高がマイナスになることがあります。現預金のマイナスは資金繰りの破綻を意味します。

## 将来税法株価

### 税法株価計算の流れ

1. 評価の枠組み
  - ① 会社の規模判定
  - ② 会社種別判
  - ③ 株価評価方法の判定
2. 評価方法別株価算出
  - ① 純資産価額方式
  - ② 類似業種比準方式
3. 最終株価

・ EVSPの大きな特長は、将来シナリオ毎に将来各年の税法株価が算出されることです。これによってどのような施策がどのような節税効果を生むのかを簡単に分析することができます。

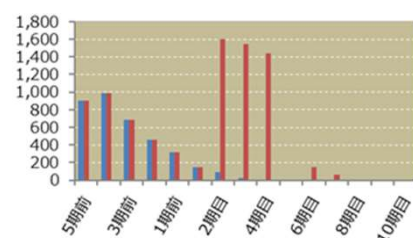
・ 相続税法上の株価は左に示した流れに沿って算出されます。資産の時価情報等はマニュアルで入力できるようになっています。

・ 右掲の表は、ある節税効果が高い投資を将来2期目にした場合の節税効果を表示しています。その下のグラフは、当該投資のための借入れがその後順調に返済されることを示しています。

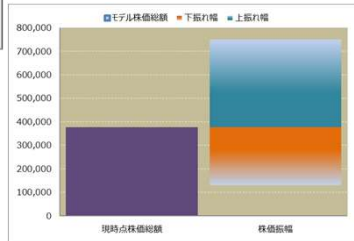
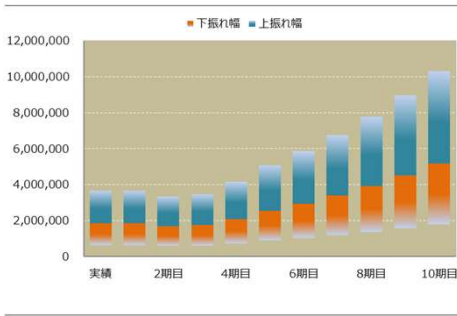
・ 現在喫緊の課題となっている事業承継問題への切り口として有用な情報を提供します。

税法株価

	当期	2期目	3期目	4期目	5期目	6期目	7期目	8期目	9期目	10期目
投資前	3,706	3,706	3,962	3,962	4,049	4,049	4,136	4,136	4,223	4,223
投資後	3,706	3,706	3,015	3,041	3,102	3,532	4,049	4,136	4,136	4,223
前-後	0	0	947	921	947	517	87	0	87	0



## 市場株価



・ M&A,取引先への出資などには、市場ベースの株価推定値が参照されます。EVSPでは、マルチプル法とDCF法により、**将来シナリオ毎**の推定市場株価が範囲で表示されます。

・ マルチプル、DCF共に、詳細にわたる計算要素(マルチプル、WACC、 $\beta$  など)をマニュアル調整をすることができます。また、マルチプルなどのデータも、月次で更新され、参照可能となっています。

・ 事業承継問題に関連した第三者への株式売却、銀行による事業会社への出資制限の緩和などにより市場株価の分析の重要性は益々高まってゆくものと思われる。

## 信用力

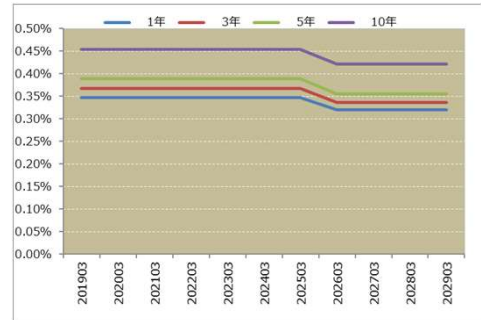
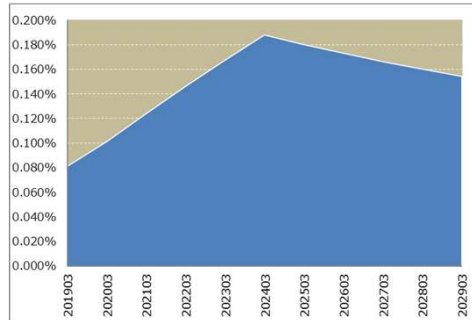
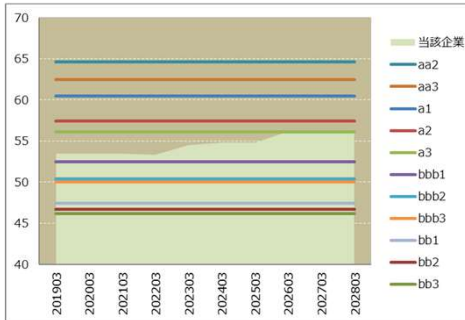
・ 信用力計測には、CPC社が金融機関、大手商社との間で長年にわたり培ってきた統計モデル作成技術が活用されています。モデルのメンテナンスは毎年、ベースデータの提供も定期的に行われます。

・ EVSPに搭載されている信用力関連モデルは、格付モデル、デフォルト確率モデル、社債スプレッドモデルの3種類です。

**格付モデル:** 本邦系格付機関の格付に近似する格付を推定します。中長期の信用力を評価します。中堅以上の企業向けです。

**デフォルト確率モデル:** 当該企業が1年以内にデフォルトする蓋然性を示すものです。勘定科目の動きに比較的鋭敏に反応します。

**スプレッドモデル:** 信用力に応じて、国債のイールドに上乘せされる上乘せ幅を推定します。債権時価計算、DCF法引当のベースになります。



## 非上場類似企業抽出

・ 全国ベースの非上場企業(売上3億円以上、約14万社)DBから分析対象と類似した企業を抽出することができます。

・ 右に抽出条件を例示しています。抽出キーはこの他にも多数あります。

・ その結果、抽出された類似企業の財務諸比率、信用力、類似企業グループ内の地位(偏差値)が一覧表で表示されます。

・ 企業分析のみならず、他地域における新規営業などにも役立ちます。

項目	抽出条件
業種	電気通信工事業
上場/非上場	非上場
売上	5~10億円
信用力	デフォルト確率ベースでよい方(低い方)1/4
地域	兵庫県

企業名	分析対象企業		抽出企業統計値		抽出企業		
	パナソニックグループ本社	抽出企業平均	抽出企業標準偏差	東洋電気工事(株)	太陽電設(株)	大和電気(株)	
企業コード	2010			660356270	660356343	670272132	
決算期	201903			201805	201809	201706	
売上伸び率	1.6%	5.7%	22.4%	16.77%	-34.78%	0.00%	
原価率	55.6%	71.3%	5.3%	77.18%	74.98%	63.59%	
粗利率	44.4%	28.7%	5.3%	22.82%	25.02%	36.41%	
販管費率	38.4%	19.1%	5.6%	12.08%	13.88%	15.36%	
営業利益率	5.9%	9.6%	6.2%	10.74%	11.14%	21.05%	
営業利益率	6.4%	10.1%	6.5%	9.17%	13.14%	21.12%	
投資利益率	7.5%	8.9%	6.3%	9.25%	13.14%	21.12%	
支払利息/売上	0.0%	0.1%	0.1%	0.00%	0.06%	0.00%	
現金回収率	2.53	5.40	5.92	3.55	3.96	5.43	
売上債権回収期間	1.97	1.45	0.79	3.24	2.81	1.21	
顧客資産回収期間	0.82	0.83	0.70	0.63	0.84	0.83	
その他流動資産回収期間	0.25	0.25	0.30	0.15	0.40	-0.01	
土地回収期間	1.30	1.04	1.07	2.39	0.00	0.61	
投資の劣資産回収期間	3.26	1.06	2.95	1.13	1.58	1.31	
買入債務回収期間	0.92	0.73	0.64	1.33	0.94	1.67	
自己資本比率	59.8%	66.6%	16.0%	77.22%	49.15%	46.12%	
借入金/自己資本	0.16	0.34	1.22	0.00	2.15	0.03	
借入ラシオ(pd単位)	1	3.7	1.4	2	5	2	
グループ内偏差値							
売上伸び率	48			55	32	47	
営業利益率	44			52	52	68	
投資利益率	44			49	55	67	
自己資本比率	46			57	39	37	
(平均)	46			53	45	55	



ワンクリック・レポート作成

・ EVSPは簡単な操作で、3種類のコンサイス(一頁)なレポートを用意しています。

- ① 企業概要(実績損益、財務サマリー)  
(右 例示)
- ② 将来信用力
- ③ 将来株価

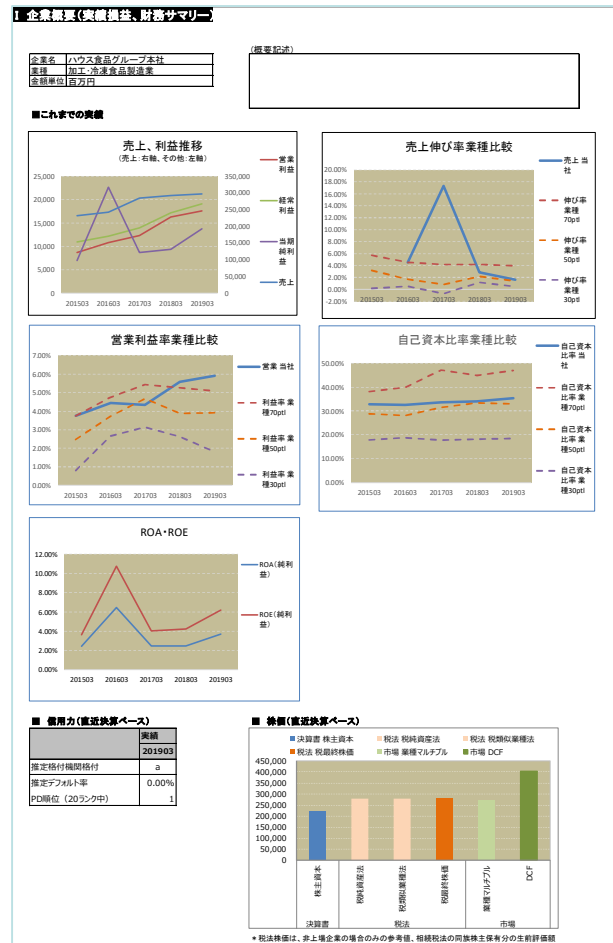
・ 将来信用力と株価レポートでは、所与の2つの将来シナリオを利用します。

\* 別途、ご自分で作った別のシナリオを指定することもできます。

- a) 分析対象企業の過去の売上伸び率平均が今後も継続した場合(売上の伸びに資産、負債も連動)
- b) リーマンショック時(2008~2012)の対象企業の業種の売上平均伸び率を今後の売上伸び率に適用した場合(費用については固定変動適用)

・ 将来信用力レポートでは、2つのシナリオに基づく、格付、デフォルト確率、スプレッドの将来10年の予想値を表示します。

・ 将来株価レポートでも、同様に2つのシナリオに基づき、マルチプル法株価、DCF法株価の予想推移と主要計算要素(業種マルチプル、WACC等)を表示します。



< 動作環境 >

EVシリーズは、以下の要件を満たすPC上で動作します。

メモリ: 2MB以上(推奨4MB以上)

ドライブの空き容量: 1GB以上(ファイルの書き込み権限必要)

OS: Microsoft Windows 10以降(iOSは稼働しません)  
32ビット版/64ビット版両環境で動作可能

ソフトウェア: Microsoft Office 2010以降(MS ACCESS必須)  
32ビット版/64ビット版両環境で動作可能

ネットワーク接続: データベースの自動更新機能を使う場合、インターネットへの接続が必要(接続がなくても稼働します)

< 開発元 >

株式会社クレジット・プライシング・コーポレーション